

災害リスク情報等の利活用場面に関する 意見募集について

合同部会において、利活用場面の検討の重要性に関する意見が多く寄せられ、規格化対象の情報項目を整理する上で、部会メンバー各位が想定する利活用場面についてアイデアを募集します

平成22年5月

1. 意見募集の目的

- 災害リスク情報の規格化を行うにあたり、対象とすべき情報項目を具体化する必要がある



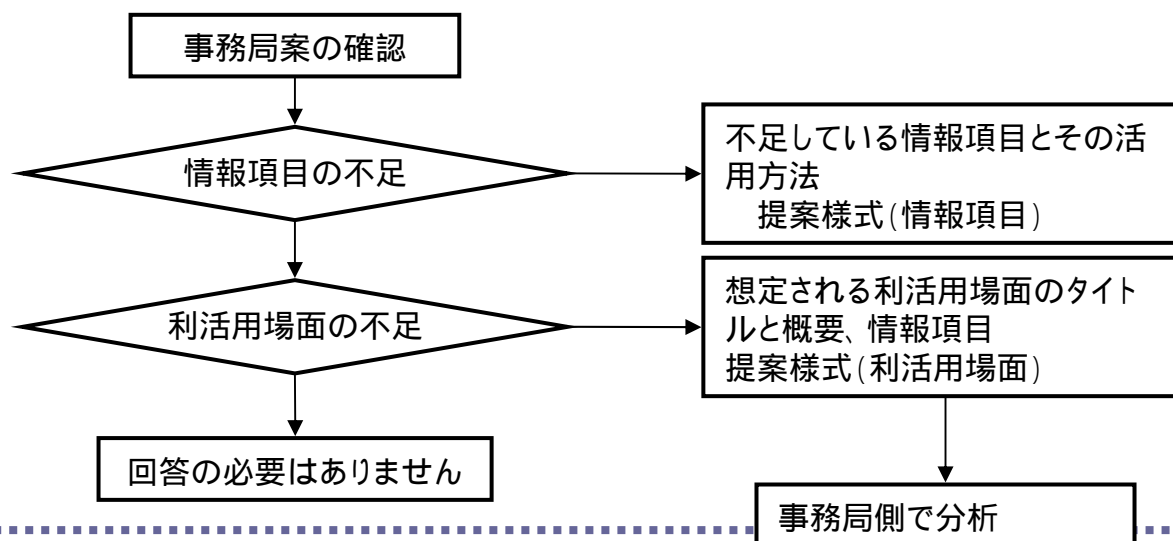
その前提となる利活用場面は分野ごとに多岐に渡るが、できるだけ多くの利活用場面を想定し、要求される情報項目を具体化する必要がある



部会のメンバーの方からも意見を頂き、検討に反映

2. 利活用場面に関する提案方法

- 利活用場面（案）を事務局から提示
- 提示した利活用場面（案）に対し、不足している場面や情報項目を提示していただく
- 事務局案に追加として提案いただく利活用場面の提示にあたっては、概要のみを記載していただく
詳細は事務局側で分析するので、必要に応じて追跡調査にご協力ください



項	内容	例
WHAT	利活用される災害リスク情報	事務局から提示するリストの中で該当するものを提示
WHO	利活用場面に関係する主体(アクター)	データ提供者、データ加工者、サービス提供者、サービス利用者、等
WHY	利活用の目的	エンドユーザにもたらされる効果、データ加工時の作業軽減、等
WHEN	利用する時点、タイミング	発災前、発災時(被災時、非難時等)、発災後数週間後、等
HOW	利用する方法	データを入手・提供する方法、サービスを受ける方法
WHERE	利用する場所	データを収集する場所、サービスを受ける場所(自宅、避難所、等)

3. (2) 提案様式(利活用場面)・・・新規に追加の場合

タイトル	利活用のタイトルを記入		
概要	利活用内容を記載		
情報項目	利活用に用いられると思われるデータ項目のうち、事務局側の規格化データ項目に不足するものを記載 別添の「データ項目リスト」「製品仕様書」を参照いただき、不足するデータ項目があれば記入		
利活用の目的			
利活用場面に関係する主体(アクター)	データ作成・提供者	サービス提供者	エンドユーザ
利用する時点、 タイミング	フェーズ(平常時、発災時、発災直後、一定期間経過後)		
	具体のタイミング	いただいた意見等から事務局で整理 追記いただいても構いません。その場合は、赤字でご記入下さい	
利用する場所 (避難所、自宅、野外等)			
利用する方法 (携帯電話、TV、ラジオ、広報車、等受け取る方法、ダウンロード等入手方法)			

別添資料

地震被害想定データ、津波被害想定データ、土砂災害被害想定データ、道路・公共交通機関被災データのそれぞれについて、

データリストまたは製品仕様書
を参照してください。

事務局から**データ仕様書案**を提示するので、**利活用場面**に対して、**不足する情報項目があれば追加欄**に記入してください。

クラス名	属性・関連役割名
震源	
	災害名称
	作成日時
	地震名称
	長さ
	幅
	深さ
	すべり角
	マグニチュード
	走向
	傾斜
	断層基準点
	地震モーメント
	注記
地震動等メッシュ	
	上位メッシュコード

例) 地震被害想定データ 製品仕様書の情報項目

クラス名	属性・関連役割名
地震動等データ	
	メッシュコード
	震度階級
	計測震度
	震度増分
	地表最大加速度
	基盤最大加速度
	地表最大速度
	基盤最大速度
	SI値
	変位
液状化メッシュ	
	上位メッシュコード
	限界加速度評価設定PL値
液状化危険度データ	
	メッシュコード
	液状化危険度 (PL値)
	液状化危険度 (限界加速度値)
	液状化危険度 (区分)
津波水位メッシュ	
	上位メッシュコード
	条件

4. 実施スケジュール等

1. 回答期限

情報共有サイトにて改めて意見募集の依頼を実施

その際に回答期限等の詳細を連絡

2. 回答方法

共有サイトへの返信

調査関連資料や詳細な返信方法は共有サイトに掲載